

阿武郡報

第五十號

大正六年十二月十九日第三種郵便物認可 (毎月一回二十五日發行)

次 目

表 彰	一六
庶 務	一二
學 事	一五
産 業	一七
農事視察報告	一六
阿武郡農會事業概況	一五
阿武郡農會主催耕地整理講習會	一六
軍用干草獎勵に就て	一七



表

彰

十月三十一日天長節祝日に當り岡村本郡長より表彰せられたる自治に關する功勞者、優良團體及篤行者の表彰文並事蹟概要左の如し

▼表彰文▲

阿武郡生雲村長

佐々木靖夫

明治三十二年生雲村役場ニ職ヲ奉シ爾來累進今日ニ至ル自治事務ニ從事スルコト二十有一年其ノ間常ニ専心村治ノ伸展ヲ圖リ克ク事務ヲ整理シ教育産業ノ普及發

大正九年十月廿四日印刷
大正九年十月廿五日發行

發行所 山口縣阿武郡役所

印刷所 萩 馨 海 館

達公租滯納ノ矯正ニ努メ特ニ道路ノ改修ニ力ヲ效ス等
其ノ効績洵ニ顯著ナリトス仍テ銀盃壹組ヲ授與シテ茲
ニ之ヲ表彰ス

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長從六位勳六等 岡村 勇二

阿武郡明木村助役

正八位勳五等功五級 內 藤 九 郎

明治三十八年十月明木村役場ニ職ヲ奉シ爾來在職實ニ
十有五年其ノ間常ニ自治ノ振興ニ意ヲ致シ克ク事務ヲ
整理シ公租滯納ノ矯正ニ努メ各種團體ノ指導訓練ニ努
力セル等其ノ効績洵ニ顯著ナリトス仍テ銀盃壹組ヲ授
與シテ茲ニ之ヲ表彰ス

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長從六位勳六等 岡村 勇二

阿武郡會議員
阿武郡萩町會議員

中 村 善 次 郎

明治十六年選ハレテ萩町會議員トナリ明治四十年更ニ
阿武郡會議員トナリ今日ニ至ル公職ニ在ルコト實ニ三
十有四年其ノ間終始一日ノ如ク格勤精勵克ク自治公共

ノ事ニ力ヲ竭シ地方ノ開發ニ貢獻スル所尠シトセス仍
テ銀盃壹組ヲ授與シテ茲ニ之ヲ表彰ス

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長從六位勳六等 岡村 勇二

阿武郡福川村字吉田區

協同緝睦相率ヒテ公共ノ事ニ勵ミ人情質朴ニシテ勤儉
力行ノ風ニ富ミ家產相齊フ近時特ニ農事ノ改良發達ニ
留意シ成績見ルヘキモノ尠シトセス今後一層其ノ實績
ヲ擧ケンコトヲ期スヘシ仍テ金拾五圓ヲ授與シテ茲ニ
之ヲ表彰ス

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長從六位勳六等 岡村 勇二

阿武郡奈古尋常高等小學校准訓導

小 野 フ ヌ

多年小學校教育ニ從事シ格勤精勵克ク教授訓育ノ功ヲ
積ミ兒童輩陶ノ績顯著ナルノミナラス奈古村婦人規約
貯金會ヲ起シテ勤儉貯蓄ノ美風ヲ作興シ婦人教化ノ功
績亦尠シトセス今後一層盡瘁スル所アルヘシ仍テ硯箱
壹個ヲ授與シテ茲ニ之ヲ表彰ス

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長從六位勳六等 岡村 勇二

阿武郡三見村

河 村 竹 一

常ニ進取ノ氣風ニ富ミテ修養ヲ怠ラス率先産業ノ改良
發達ニ力ヲ致シ實踐躬行範ヲ鄉黨ニ垂レ勤儉克ク產ヲ
興シ以テ地方公共ノ事ニ盡瘁スル所アルノミナラス日
常多額ノ金品ヲ喜捨シ隱德克ク衆ヲ勵マシ地方開發ノ
中心人物トシテ其ノ篤行賞スヘキモノ尠シトセス仍テ
銀盃壹組ヲ授與シテ茲ニ之ヲ表彰ス

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長從六位勳六等 岡村 勇二

阿武郡須佐村

下 瀬 マ ッ

夙ニ佛法ニ歸依シ敬神崇祖ノ念最モ旺ナリ居常公德ヲ
重シシ人情ニ篤ク熱烈ノ情克ク夫ヲ感化シテ之ヲ信仰
ニ導キ不具ノ伯母ニ仕フルコト實ニ三十有八年其ノ間
終始一日ノ如ク懇切至ラサルナク洵ニ能ク報德ノ道ヲ
守リテ範ヲ鄉閭ニ垂レ篤行顯著ナルモノナリトス仍テ
打敷一揃ヲ授與シテ之ヲ表彰ス

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長從六位勳六等 岡村 勇二

▼事蹟概要▼

阿武郡生雲村長 佐々木 靖 夫

明治三十二年生雲村書記トナリ始メテ自治事務ニ從事
ス三十九年收入役ニ進ミ四十年衆望ヲ荷ヒテ村長ノ職
ニ膺リ任滿ツル毎ニ再選今日ニ至ル資性温厚ニシテ寡
言在職茲ニ二十有一年其ノ間日々數里ノ道ヲ往復シテ
更ニ倦怠ノ色ナク格勤精勵終始一日ノ如ク常ニ部下吏
僚ヲ督勵シ協力一致克ク村治ノ進展ニ努力ス從テ閭閻
ノ信賴亦彌々深シ明治四十一年便宜ノ地ヲトシテ廳舍
ノ移轉改築ヲ決行シ内部ノ構造ヲ改メテ土間式ト爲シ
村民ノ接遇ト執務ノ便ニ供ス蓋シ其ノ着手ノ早キコト
郡内明木村ニ次クノ施設ナリトス大正六年記録全部ヲ
縱式ニ改メ倉庫ノ内容ヲ改造シテ保存ニ便ス簿冊ニ村
長年代史アリ町制實施以來村長在職當時ノ重要事蹟
ヲ網羅シ永ク其ノ功勞ヲ悵ハレムルト共ニ將來治政ノ
參考ニ資スル等能ク事務ノ整善ニ意ヲ用ユル所アリ理
事者ト村會トノ關係又極メテ圓滿融和シ村長就職以來
嘗テ垂離ヲ生シタルコトナク每會悉ク原案ヲ以テ可決

スルニ至レリ本村元滞納ノ弊アリ加フルニ數個ノ鑛山
ナ有スルカ故ニ朝來暮散從テ所在不明者多ク容易ニ之
カ矯正ノ實ヲ舉クルニ至ラザリシモ四十四年各戸ニ納
期限表ヲ配付シ或ハ僻陋不便ノ地ニ出張徴收ノ途ヲ開
キ更ニ獎勵金ヲ交付シテ集納ヲ勸メ各種機會アル毎ニ
百方畫策督勵ノ効果遂ニ空シカラス今ヤ村內現住者ヲ
通シ滞納者ナキニ至レリ大正四年ノ頃連年多數ノ傳染
病流行シタルニ鑑ミ爾來定期清潔法ヲ勵行スルト共ニ
毎年衛生講話會ヲ開キテ一般ノ注意ヲ喚起シ大正六年
衛生組合役員講習會ヲ開設シテ衛生事務ノ普及徹底ヲ
圖リ更ニ衛生組合ノ活動ヲ促シ消毒運搬ノコトニ至ル
マテ全部ノ力實行ヲ期セシメ懇切以テ患者ノ取扱ニ當
リ兼テ村費ノ輕減ニ努ムル等常ニ衛生事務ノ改善ニ力
ヲ效セリ

村ニ部落有財産アリ之カ整理統一ハ固ヨリ難事トスル
所ナリシカ深慮克ク事前ノ注意ヲ周到ニシ屢々部落ノ
住民ヲ訪フテ整理ノ趣旨ヲ宣傳シ之カ諒解ヲ求メテ財
產全部ヲ容易ニ村ニ歸一スルヲ得タリ明治四十一年銅
分教場ノ改築ヲ決行シ同時ニ其ノ分教場ヲ廢止シテ藏
目喜尋常小學校ヲ設置ス殊ニ本校舎ノ改築ハ多年ノ
懸案ナリシカ遂ニ其ノ熱誠ナル努力ニ依リ巨額ノ資ヲ

投シテ校舍全部ノ移轉改築ヲ斷行シテ其ノ設備ヲ整ヘ
内容ノ改善ト相俟ツテ其ノ成績亦見ルヘキモノアリ近
ク婦人會ヲ設立シ婦德ヲ修養スルヲ以テ本トス設立日
尙淺シト雖トモ又以テ婦人教化ノ好機關タルヘシ

公有林野ノ整理ニ就キテハ能ク難關ヲ排シテ多年錯綜
セル入會關係ヲ解決シ更ニ林野全部ノ整理區分ヲ確定
シ適切ナル管理方法ヲ樹立シテ基本財産ノ造成ニ努ム
近時米麥作ノ增收ニ重キヲ置キテ多收作品評會ヲ開設
シ或ハ篤農家ヲ選ヒテ模範田ヲ設置スル等大ニ指導獎
勵ヲ加ヘ客歲年頭ニ當リテハ區長全部ヲ召集シ產業方
針ヲ確立シテ必行事項ヲ協定シ相結束シテ其ノ實行ヲ
期セリ

夙ニ信用組合ノ設立ヲ急務トセルモ本村由來高利ノ資
金ヲ融通スルモノ多ク爲ニ阻止セラレタ容易ニ其ノ設
立ヲ見ルニ至ラザリシモ大正七年ニ至リ地方有志ヲ同
行シテ模範組合ノ視察ヲ爲シ相謀リテ遂ニ之カ設立ヲ
實現シ推サレテ組合長トナリ爾來施設經營ニ努ムル所
アリ組合員未タ村內ニ普及スルニ至ラズ事業ノ分量亦
多シトモセサルモ能ク地方ノ金利ヲ低下シ資金ノ調和ヲ
圖リ今ヤ村內唯一ノ金融機關タルヲントスルニ至ル
村ハ其ノ面積廣汎ナルカ故ニ從テ里道ノ施設ヲ要求ス

ルコト多ク之カ改修ニ當リテハ常ニ部民ヲ説得シテ支
障ヲ免除シ劃策行ハレサルナシ就中大正六年以降毎年
地方改良ノ目的ヲ以テ區長議員及教員等ヲ伴ヒ自ラ先
頭ニ立テ先進地方ノ視察ヲ遂ケ歸來其ノ機關ヲ集メテ
視察ノ狀況ヲ報告シ採長補短能ク地方ノ改善發達ニ資
スル所亦勘シトセサル等村長在職年間ニ於ケル苦心經
營ノ稱スヘキ者多ク其ノ効績洵ニ顯著ナリト謂フヘシ

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長 岡村勇二誌

阿武郡明木村助役

正八位勳五等 內 藤 九 郎

資性温厚ニシテ果斷ニ富ミ諸事熱心ニシテ不撓不屈事
ニ膺リテ忠實渝ルコトナシ明治二十二年十二月陸軍教
導團ニ入り初メテ戎服ヲ纏フ爾來軍務ニ精勵常ニ拔群
ノ成績ナリ日露ノ戰役乃木第三軍ニ從ヒ各地ニ轉戰シ
テ偉功ヲ奏シ遂ニ敵彈ノ爲メ一肢ノ用ヲ失フニ至リ退
役ノ身トナルモ武勳長ヘニ光輝アリ

明治三十八年十二月一日明木村書記トナリ全四十二年
十二月選レテ同村助役トナル爾來重任ヲ今日ニ至ル
其ノ職ニ在ルヤ精勵恪勤克ク村長ヲ補佐シ不全ノ身ヲ

以テ率先躬行進シテ難局ニ當ルノ氣慨ヲ有シ銳意熱心
事務ノ整理ニ努ム身ヲ以テ範ヲ示シ吏僚ノ統率宜シキ
ヲ得職員間和衷圓滿ニシテ事績大ニ揚ル人ニ對シテハ
懇切丁寧文書ノ處理常ニ敏活ニシテ明斷果決其ノ當ヲ
得嘗テ遺漏アルナシ就中記録簿冊ノ編綴保存ヨリ例記
統計類ノ加除編纂ニ至ル迄自ラ之ニ當リ改廢宜シキヲ
得簿冊ハ之ヲ全部縦式ニ改メ以テ索引保存ニ便ナラシ
ム殊ニ自ラ考案研究ヲ重テ定期限事務登載用木製衝立
ヲ作製シ之ヲ各主任者ノ机上ニ置キ其ノ提出期限ノ衍
ルコトナキヲ期シ期限事務ニ就キ滯留アルヲ見ス又日
々收受ノ文書ハ即日處理ノ方針ヲ勵行シ村勢調査原簿
其他重要書類ノ記入編纂及保存ニ關シテハ深甚ノ注意
ヲ拂ヒ苟モ遺漏錯誤ナカラシムコトヲ期シ事務整然タリ
本村モト多數ノ滞納者アリテ歷代ノ當局之カ矯正ニ努
メシモ容易ニ其ノ効果ヲ舉クルニ至ラザリシカ四十二
年助役就任後深ク之ヲ遺憾トシ村長ト共ニ斷然之カ矯
弊ノ途ヲ講シ或ハ各區ニ納稅組合ヲ組織シ或ハ各部落
ニ示談會ヲ起シ納稅義務ノ勵行ヲ力説シ又ハ納期限表
ヲ配付シテ注意ヲナス等施設經營至ラサルナク殊ニ自
ラハ又公職ノ傍所屬區ノ納稅組合長トナリ組合員ヲシ
テ義務觀念ノ向上ニ努ム他區ニ率先シテ之ヲ完納スル

ナ例トナス其ノ美風忽チ全村ニ及ヒ近時村內各區ヲ通シテ納期五日必ス完納ノ實績ヲ舉クルニ至レリ日露戰役後在郷軍人數漸次増加スルヲ以テ之ヲ一團隊トシテ訓練スルノ必要ヲ感シ村內有力者ト協議シテ明城在郷軍人會ナルモノヲ組織シ四十年一月一日之カ發會式ヲ舉ケ推サレテ會長トナリ四十四年帝國在郷軍人分會ノ組織ニ改ムルヤ更ニ又分會長ニ推舉セラレ爾來重任今日ニ至ル此ノ間克ク私事ヲ放擲シ専ラ軍人分會ノ進展ヲ期シ會員ノ指導誘掖宜シキヲ得清廉潔白ナル性格ト義勇敢ナル行動トハ能ク郷黨之ヲ敬慕シ會員間ノ和衷協同會スレハ之レ一家庭ノ如ク會長ヲシテ眞ニ慈父ニ接スルノ觀アラシム事業トシテ壯丁入營前ノ準備教育簡點呼前ノ豫習教育ニ力ヲ致シ殊ニ分會基本財産造成ノ爲メ營林經營ヲナスヤ其ノ植樹及手入ヲナス等身ヲ以テ衆ヲ率ヒ努力至ラサルナシ年次其ノ成育極メテ良好ニシテ現在杉八千五百本楠二千五百餘本松一万六千七百本ヲ算ス又會員全部ニ軍服ヲ調製セシメ傍ヲ規約貯金ヲ獎勵シ之ヲ村信用組合ニ預ケ入レ其ノ額亦實ニ千二百七十餘圓ニ達セリ又青壯年團ト分會トノ關係ニ留意シ常ニ近密ノ調和ヲ計リ各種ノ事業ハ必ス聯合シテ之ニ當リ相互ノ連繫極

メテ圓滿ナリ斯クテ同分會ハ大正七年六月山口聯隊區管内ニ於ケル模範分會トシテ第一項ノ表彰ヲ受ケ又分會長トシテ成績殊ニ優良ナリトシ本年六月更ニ會長ヨリ表彰セララル大ニ故アリト謂フヘシ

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長 岡村勇二誌

阿武郡名譽職參事會員

阿武郡萩町會議員

中村善次郎

資性温厚意思鞏固ニシテ約ヲ守リ常ニ眞俗二體ノ教義ニ歸依シ一族亦信仰ノ念深ク家庭圓滿ナリ明治十六年萩御許町々會議員トナリ萩聯合會議員ヲ兼ね二十二年町制實施ノ後改メテ萩町會議員トナリ重任今日ニ至ル在職年數前後ヲ通シ實ニ三十有四年ノ久シキニ及フ蓋シ町村永年勤績者ノ最タルモノナリ其ノ間始終一貫至誠ヲ以テ事ニ膺リ常ニ公平ヲ持シ町民ノ意思ヲ尊重シテ能ク其ノ職責ヲ盡ス委員制度ノ設アル毎ニ必ス學ケラレテ其ノ一員トナル等町會ニ重キヲナセリ明治四十年衆望ヲ荷ヒテ阿武郡會議員トナリ任期滿了後一時退職スルコトアリシモ大正二年補缺選舉ニ丁リ選

ハレテ再任スルト共ニ阿武郡名譽職參事會員ニ當選シテ今猶其職ニ在リ前後ヲ通シ十有二年郡政ニ參與ス初任以來郡會ノ開設二十回此ノ總日數六十二日病氣ノ爲メ缺席スルコト僅ニ一日ニシテ參事會就任以來回ヲ重ヌルコト十八嘗テ缺席シタルコトナク郡治ノ伸展ニ努力シタル勞効亦尠シトセサルナリ町ニ私立萩婦人會修善女學校アリ明治二十三年本派本願寺萩別院內ニ設立セル婦人ノ信者ヨリ成ル修善講ノ企劃ニ依リ婦德ノ修養ト女子ニ須要ナル裁縫手藝ノ教授指導ヲナスヲ目的トシ創立セシモノナリ其後事情アリテ一時休止ニ際會シタルコトアリシカ後萩婦人會ノ發起ニ依リ之ヲ復活開校スルニ至ルヤ四十年同會ノ顧問ニ推サレ兼テ會計ノ任ニ膺リ涸渴セル財政ヲシテ能ク案配整理シ常ニ財産ノ造成ニ苦心スルト共ニ大正二年校舍ノ移轉改築ヲ決行シ累代ノ校長ヲ援助シテ其ノ經營宜シキヲ得今ヤ完全ナル私立女子教育機關タラシムルニ至ラレタル勞効沒スヘカヲサルモノアリ明治三十二年萩中學校設置ノコトアルヤ之カ幹旋ノ衝ニ當リ土地買収ニ寄附勸誘ニ東奔西走大ニ努メ更ニ建築委員ニ推サレテ工事ノ竣成ニ力ヲ致シ大正六年萩商業學校ノ創設ニ際シテハ幹旋大ニ努メ當局及同僚ト共

ニ福岡、大分兩縣ニ於ケル商業教育施設ノ狀況ヲ視察シ益々其必要ヲ説キテ之カ實現ニ努ムル等教育ノ事ニ力ヲ盡ス所アルノミナラス多年縣社春日神社ノ總代トナリ建物ノ頽廢ヲ舊復シ調度ヲ整ヘ基金ノ増殖ニ神園ノ擴張ニ特ニ幹旋大ニ努ム嘗テ萩實業組合長ニ舉ケラレテ力ヲ致シ産業組合法發布セララルヤ平島伊之助氏ト共ニ相謀リテ信用組合ノ設立ヲ提唱シ遂ニ之ヲ實現シ選ハレテ理事ノ職ニ膺リ爾來再選組合事業ニ盡瘁スルコト茲ニ十有九年地方商工業ノ發達興隆ニ資スル等多年公共ノ事ニ貢獻シタル功績洵ニ顯著ナリト謂フヘシ

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長 岡村勇二誌

阿武郡福川村大字黒川字吉田區

福川村大字黒川字吉田區ハ萩町ヨリ一里半四面山岳ヲ以テ圍ラシ東方ノ山頗羽賀ノ臺ヲ望ム戸數十五戸、田地十五町歩人口百ニ足ラサル一部落ナルモ人情淳朴ニシテ家産相齊ヒ特ニ共同一致ノ美風ニ富ム此地由來一人ノ怠納者ナク毎納期二日前ニハ必ス區長ノ許ヘ差出シ皆納ヲ見ルナ例ト爲ス會テ納稅成績良好ノ故ヲ以テ

ニ家政ニ留意シテ家計ヲ潤澤ニシ内助ノ功大ナルモノアリ

其ノ職ヲ學校ニ奉スルヲ身ヲ以テ兒童ノ教養ニ任シ十四年ノ久レキ常ニ始業一時前ニ出勤シテ教授訓練ノ準備ニ遺漏ナキヲ期シ薄暮家ニ歸ル迄校務ニ執掌シテ勞ヲ惜マス其ノ兒童ニ臨ムヤ懇切熱心教ヘテ倦マズ愛情ヲ傾注シテ教養ニ努ム擔當學級ノ成績亦良好ニシテ兒童ハ慈母ニ親ムカ如ク其ノ情誼頗ル濃カナルモノアリ休業日ニハ家庭ニ於テ村内處女ノ爲メニ裁縫作法等ノ指導ヲナシ卒業生ノ德風ヲ慕ヒテ出入スルモノ多ク村民保護者ノ信頼亦極メテ厚シ明治四十一年戊申詔書煥發セラレ各地ニ地方改良ノ企テ見ルヤ婦人亦安居スルノ時ニ非ストシ自ラ出テ近隣ノ婦人ヲ歴訪シ勤儉貯蓄ノ必要ヲ力説シ寺側地、東光寺兩區ノ主婦一同ト八幡宮社前ニ協議會ヲ開キ奈古村婦人貯金會ナルモノヲ起シ會員ノ節約勤勞ニヨリ毎月貳錢宛貯金スヘキコトヲ約シ自ラ斡旋ノ勞ヲ取り貯金ハ奈古村信用組合ニ預ケ入ル後毎月ノ貯金額ヲ五錢ニ増シ大正四年ヨリ規約貯金ノ制ニ改ム後主婦以外ノ婦女子ニシテ此ノ趣旨ヲ賛シ入會スルモノ續出シ目下兩區ノ會員合シテ六十一名貯金額壹千二百圓ヲ算スルニ至ル大正八年五月同村

上郷下郷兩區ノ婦人亦其ノ盡力ニヨリテ貯金會ヲ起シ會員七十一名貯金額四百圓ヲ見ルニ至リ四區會員ヨリ推サレテ總取締ナル會員ハ毎月規約貯金ヲ實行スルノミナラス毎年數回會合ヲ催フシ家事教育衛生等ニ關スル講話ヲ聽キテ互ニ修養ニ努メ隣保相助ケテ喜憂ヲ共ニシ區内ノ死亡者ニ對シテハ會員一同會葬シ生花ヲ贈ル等醇厚ノ美俗擲スヘキモノアリ

一婦女ノ身ヲ以テ家政ヲ整理シテ善良ナル家風ヲ作り教職ニアリテ忠實ニ其ノ責務ヲ全フシ更ニ社會教化ニ盡瘁シテ其ノ功績顯著ナルモノアルハ洵ニ現代婦人ノ鑑トスルニ足ル是レ素ヨリ庭訓ノ宜シキヲ得タルニ依ルト雖トモ亦君カ至誠熱心ノ努力ニ待ツモノ多キニ居ラスンハアラス冀クハ益々自重シテ其ノ天職ヲ完フセンコトヲ

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長 岡村勇二誌

阿武郡 三見村 河村 竹一

實性卒直ニシテ功名ニ走ラス常ニ進歩的施設ニ意ヲ致シテ地方開發ノ先驅タリ居常家族ヲ戒ムルニ儉素ヲ致

其ノ表彰ヲ受ケタルコトアリ又報德會ノ出席協定事項ノ實行能ク勵行セラレ就中時間ノ勵行ノ如キハ最モ能ク確守セラレ他ノ地方ノ模範トサレツ、アリ本年一月福川村信用組合設立サル、ヤ相率ヒテ之ニ加入シ現在組合員數十一名ニ及ヒ未加入者ハ既ニ加入ノ運ヒト爲リ居レルカ如ク組合貯金額亦最近二千三百八十七圓余ノ多キニ上ル明治三十一年一般赤痢猖獗極メタル時偶々二名ノ傳染病患者ヲ出シタルモ爾來一般衛生思想ノ發達普及ト區民各自ノ衛生ニ專心注意セルトコロニ依リ爾後毎年一名ノ患者ヲモ發生セルコトナシ農時ニ關シテハ常ニ改良ニ將タ研究ニ意ヲ用ヒ區内平均一戸耕地反別約一町歩畑二反歩ニ上ルモ年間孜々トシテ農事ニイソシミ倦ム所ヲ知ラス近時米多收作栽培方法トシテ苗代薄播ノ成績良好ナルヲ聞クニ及ヒ相共ニ之カ實行ニ努メ本年稻作ノ如キ全戸洩ナク之ヲ實行シ健全苗ノ育成ニ努メ其ノ他栽培方法ニ就テモ專ラ之カ研究ヲ怠ラス郡村當局ノ指導ト相俟テ改良研鑽ニ努メ良成績ヲ示スニ至レリ麥作ニ關シテモ亦能ク改良ニ力ヲ加ヘ本年度ニ於テハ各戸一反歩以上ノ廣播栽培ノ方法ヲ企劃シ土入器ノ如キ全戸購入スル等如何ニ相共ニ農事ノ研究改良ニ意ヲ用ヒツ、アルカヲ知ルヲ得ヘシ靈業

ニ就テハ區民相率ヒテ養蠶勵行ヲナシ之レヨリ得ル收益亦大ナルモノアリ其ノ他薪材竹材ノ移出ノ如キ毎年農閑ヲ利用シテ他地方ヘ出シ相當收益ヲ擧ゲ日夜怠ルコトナシ

以上ノ如ク其ノ區域狹少區民亦少數ナリト雖トモ能ク融合和平相助ケ成績良好ナルモノアルハ洵ニ賞スヘキコトナリトス

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長 岡村勇二誌

阿武郡奈古尋常高等小學校准訓導 小野 フユ

明治三十四年三月秋町立明倫尋常高等小學校高等科卒業シ三十五年三月同校女子補習科卒業ス三十八年二月東京和洋裁縫女學校ニ入學シ專ラ裁縫家事ヲ研究シ三十九年五月試驗豫備科卒業ス三十九年十二月奈古村郷社八幡宮社司小野朋介氏ニ嫁ス四十年四月奈古尋常高等小學校准訓導ヲ拜命シ爾來在職十四年ノ久シキニ及ヘリ資性溫良恭順ニシテ誠意事ニ從ヒ至情盡サ、ルナシ小野家ニ嫁スルヤ夫ニ仕ヘテ貞淑和順祭祀ヲ重シ親戚ニ厚ク一家能ク和氣霽々タル家風ヲ作リ常

他日ノ有用ニ資スヘキヲ以テシ家弟ニ妻ヲ迎ヘ産ヲ分
ナテ同棲シ一致協力シテ勤儉大ニ努メ今ヤ資産名望共
ニ區内有數ノ地位ヲ占メ家庭亦圓滿ナルコト恰モ春ノ
如シ區内元滯納ノ積弊アリシカ大正六年村當局ノ指導
ヲ享ケテ納稅組合ヲ組織シ其ノ世話掛トナリテ督勵大
ニ努メ爾來一人ノ滯納者ナク毎納期必ス取纏メテ完納
スルノ良習ヲ馴致セリ更ニ大正五年報德會設立ノ衝ニ
當リ常ニ司會者トナリテ民心ノ善導ニ力ヲ效セリ會員
亦競フテ協定事項ノ實行ニ勵ミ善行美談從テ抄レトセ
ス區ニ原田龜松ナルモノアリ多クノ子女有シ妻ハ病
ニ仆レ長男吉藏亦兵ニ徵セラレテ入營ノ身トナル貧苦
日日ニ加ハリ生計ニ窮ス近隣之カ救助ノ道ヲ講スル
ニ當リ其ノ中心トナリテ大ニ斡旋スル所アリシモ家計
意ノ如クナラストシ大正四年龜松一家ヲ學ケテ厚狹郡
地方ヘ出稼スルノ止ムナキニ至レリ歲月人ヲ待タズ早
クモ大正六年吉藏ハ飯休除隊ヲ命セラレタルモ一家出
稼ノ爲メ錦ヲ飾ル故郷懷カシサヲ語ル家庭トナナキ悲
慘ノ境遇ニ深ク同情シ家族ト相圖リテ龜松ノ所在ヲ探
知シ旅費ヲ送リテ之ヲ歸郷セシメ自家舊宅ヲ其ノ居ニ
充テ、家具一切ヲ貸與シ以テ吉藏ノ歸郷ヲ迎ヘシメ爾
來不斷ノ親情溢ル、カ如ク途ニ原田一家ヲシテ奮起能

ク家業ニ精勵シ家政再興ノ基礎ヲ作ラシムルニ至レリ
日常ノ動作斯ノ如クナルカ故ニ能ク社寺公共ノ事ニ細
民ノ救済ニ多額ノ金品ヲ喜捨シ何モ他聞ヲ憚リテ之ヲ
發表スルヲ避ケ專ラ陰德ニ意ヲ致ス往年有志ヲ説キテ
山間耕地ニ通スル道路ニ線ヲ改築シ翌年更ニ私費五百
金ヲ投シテ之カ延長工事ヲ行ヒ又防波堤築造ノ事ニ力
ヲ致シテ其ノ功ヲ竣ヘ地方産業ノ發達ニ貢獻スル所ア
ル等功績見ルヘキモノ多シトモ種類在來ニ屬シテ素
質完カラス明治四十四年卒先進地ニ就テ良種ヲ求メ自
ラ苗木ヲ養成シテ熱心栽培ノ事ニ從ヒ漸次改良普及ノ
實ヲ舉ケテ其ノ結果亦良好ナリ又畜牛ノ改良播殖ニ力
ヲ加ヘ成績見ルヘキモノアリ殊ニ插秧期ニ當リテハ飼
養頭數ヲ増加シテ小農ニ無料貸與シ生産能率ノ増進ヲ
圖ルト共ニ兼テ自給肥料ノ普及副業ノ獎勵ニ努メ卒先
能ク研鑽シテ之ヲ實行シ常ニ地方ノ中堅タル如キ眞ニ
郷黨ノ模範トナスニ足ルヘシ

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長 岡村勇二誌

阿武郡須佐村

下瀬マツ

資性溫良ニシテ誠實人ニ接シ常ニ懇切ニシテ嘗テ合色
ナシ十六歳ニシテ養父ヲ喪ヒ憂愁ノ涙未タ乾カサルニ
故アリテ養母ニ離ルルノ悲運ニ際會ス十九歳ニシテ夫
ヲ迎ヘ屢々虚待ニ遭フモ屈セス幾多ノ辛苦ヲ嘗メ遂ニ
其ノ頑夫ヲ感化シテ之ヲ信仰ニ導キ専心家業ニ精勵セ
シメ後年推サレテ寺總代ト爲スニ至リシモ不幸ニシテ
夫ハ病魔ノ犯ス所トナリ疾ムコト一年有半此ノ間日夜
寢食ヲ忘レテ看護到ラサルナク病漸ク革マルヤ能ク彌
陀ノ本願ヲ説キテ往生ノ安心ヲ得セシム爾來哀悼措ク
能ハス死ニ仕フルコト尙ホ生ニ仕フルカ如ク追弔懇切
ヲ極ムルノミナラス祖先ニ對シ熱烈ナル至情ハ人ヲシ
テ誠ニ切ナルモノアルヲ慙ハシム家ニ七十四歳ノ伯母
アリ十六歳ニシテ兩足ノ自由ヲ失ヒ遂ニ起ツ能ハス空
シク病床ニ在ルコト實ニ五十九年ノ久シキニ及ヘリマ
ツ女深ク同情ヲ寄セ献身介護ノ任ニ膺リ不自由ナル身
ノ外出スル能ハサルヲ思ヒテハ枕頭ニ四季ノ花卉ヲ配
列シ或ハ布片ヲ利用シタル細工物ヲ吊シ不斷自作ノ英
物ヲ貯藏シ機ヲ見テ之ヲ剝カシメ無聊ヲ慰ムル等百方
慰藉ニ努ム殊ニ祭禮説教其ノ他賑合ニ當リテハ鳥ノ巢
ニ推シ脊負ヒテ行キ敢テ外見ヲ厭ハス其ノ喜ヒヲ俱ニ
シ常ニ珍ラシキヲ求メテ先ツ味ハシメ時ニ佛法ヲ説キ

テ念佛ニイソシマシム然ルニ近時老衰甚ダシク加フル
ニ明ヲ失ヒ更ニ不自由ノ身トナリシカハ晝ハ歸宅シテ
食ヲ與ヘサレハ稼カス平素衛生ヲ重シ細心ナル注意
ヲ拂ヒテ只管長壽ヲ保タシムル等其ノ伯母ニ仕フルコ
ト慈母ト異ナルナク實ニ三十有八年終始一日ノ如クニ
シテ更ニ倦怠ノ色ナク懇切ノ情眞ニ掬スヘキモノアリ
村内高山部落ニ高讀寺トイフアリテ數里ヲ隔ツ院主定
マラサルカ故ニ燈火ノ滅スルコト久シ檀徒之ヲ憂ヒテ
代番ヲ求ムルニ急ナリシカ衆議期セスシテマツ女ニ集
マリ懇望默シ難ク快諾シテ伯母ヲ伴ヒ山ニ登リテ在ル
コト年アリ此ノ間專心佛事ニ親シミ克ク其ノ任ヲ全フ
シテ衆望ニ副ヘリ床ニ至尊佛祖ヲ祀リテ朝夕禮謝ノ禮
ヲ缺キタルコトナシ戊申詔書煥發セラル、ヤ之ヲ謄寫
シ假名ヲ附シテ床上ニ掲ケ以テ日々三誦シ聖旨ノ服膺
ニ努ムルト共ニ其ノ實行ニ勵ム所アリ 先帝崩御ノ事
アルヤ追悼ノ念禁シ難ク率先寺ニ詣テ香花ヲ供ヘテ法
義ヲ營ミ衷心奉弔ノ誠意ヲ捧ケル等知恩報德ノ念誠ニ
旺ナルモノアルカ如ク常ニ公德ヲ重シ慈愛同情ノ志
厚ク吉凶相共ニシ禮ヲ厚フシ約束ヲ違ヘタルコトナシ
夙ニ納稅ノ忽ニスヘカヲサルヲ思ヒ納期三日前ニハ必
ス納付スルヲ例トス嘗テ須佐村自疆團之カ表彰ヲ行ハ

ントスルヤ素行固ヨリ佛陀ノ功力ニヨリ漸ク人ノ履
ヘキヲ辿リタルニ過キサレハ決シテ表彰ニ當ラス身一
ダヒ梵護ヲ去レハ又過チナカラント謙遜遂ニ固辭シテ
受ケス方今稍モスレハ人心動搖シ内外ノ思潮大ニ注目
スヘキ時ニ當リマツ女ノ如キハ其ノ篤行婦女子ノ以テ
範トナスニ足ルモノト謂フヘシ

大正九年十月三十一日

山口縣阿武郡長岡村勇二誌

◎庶務

□九月町村稅納稅狀況

▲戶數割附加稅

本月に於て戶數割附加稅を徵收したるものは佐々並村の
みにして第二期(四期徵收)に屬し賦課稅額三千四百四十
五圓七十一錢此人員四百五十四人納期前全部完納せり

▼反別割

本稅は特別稅に屬し高俣村に於て本年度より實施する新
稅目にして其の賦課稅額は千七百四圓五十三錢此人員千
三十九人の内滞納せる者左の如し

滞納稅額	滞納人員
三圓七九〇	三

附記 滞納者は全部萩町在住者なり

▲其の他各種附加稅

前記以外に本月徵收したる町村附加稅は鑛業稅、縣稅營
業稅、縣稅雜種稅、不動産取得稅、魚市場稅、演劇興行
稅等の各附加稅にして隨時徵收のものに屬し何れも一人
の滞納なし

◎學事

□阿武郡青年團聯合體育大會

大正九年九月二十二日天高く氣清き好時期をトし本郡青
年團聯合體育會を羽賀臺に舉行せり其の目的たる一は本
郡青年團員が平素鍛練を重ねし心身の實力を發揮せしむ
ると共に天保の昔忠正公が防長四方の健兒を會し武を闘
したる當時を偲ひ大に青年士氣の練磨に資するためと一
は來る十月山口に於ける縣教育會主催の體育大會出場の

選手選定のためとなり

午前八時開會式舉行各町村の青年團は團旗を先頭に天保
開兵の記念碑に面して整列香川明倫校訓導開式を宣し岡
村會長の挨拶一同東方遙拜國歌合唱會長式辭荒木福川校
長は天保開兵當時の狀況を説明し審判長弘津大井校長の
競技に關する注意ありて九時閉式引續き丸山運動場に於
て競技を開始せり其の種類左の如し

▼徒競走(二百米、四百米、八百米、千五百米)

▼倭運 ▼劍道 ▼相撲 ▼棒押

競技は徒競走及倭運終了の上劍道相撲棒押は同時に三箇
所に分ち舉行せり

午後三時半競技終了記念碑前に於て閉會式舉行弘津審判
長審判報告をなし岡村會長より團體及個人に賞狀を授與
し終て告辭朗讀阿武郡軍人分會聯合會長北川大佐は來賓
一同を代表して祝辭を述べ徒競走最優勝團たる白井六島
村青年團長答辭を述べ會長の發聲にて 天皇陛下の萬歲
阿武郡青年團聯合體育會の萬歲を三唱し最後に岡村會長
は福川村當局者及羽賀臺附近部落民が今回の舉に對し非
常なる斡旋の勞を執りたることを感謝する所ありて四時
閉式一同解散せり

當日參集せる青年團員は合計千二十四名(田万崎見島兩

青年團を除く)にして選手競技者は合計二百五十七名な
り其の類別左の如し

▼徒競走 二百米 四十名

四百米 三十五名

八百米 二十七名

千五百米 二十二名

▼倭運 二十名 ▼劍道 五十六名

▼相撲 三十八名 ▼棒押 十六名

右競技に關する最優勝團として賞狀を授與したるもの左
の如し

▼徒競走 六島村青年團

▼倭運 明木村青年團

▼劍道 萩町青年團

▼相撲 彌富村青年團

▼棒押 椿村青年團

個人として成績拔群なりしたため賞狀を授與したるもの左
の如し

▼徒競走

千五百米

一等 三見村 古谷伸 二等 六島村岡村周次

八百米

四 一等 紫福村 阿武秀雄
百 米 一等 福賀村 末益武雄 一等 嘉年村 佐伯德次郎
一等 奈古村 小野佐平
二 百 米 一等 福賀村 品川英一 一等 地福村 河村源作
一等 大井村 田中三郎 一等 奈古村 小野正一
俵 運 一等 明木村 山本英助 二等 椿村 中原繁一
二等 紫福村 藤田卯八
劍 道 一等 萩町 久保田貞雄 二等 德佐村 石津源一
相 撲 一等 彌富村 吉屋軍一 二等 地福村 中山安雄
二等 六島村 刀彌英助 二等 川上村 岡崎松一
棒 押 一等 椿村 三上米藏 二等 川上村 岡崎房槌
當日は前日の雨模様を引き換へ快晴の秋日和絶好の運動日和なりしも惜むらくは風烈しくして砂塵を揚げ競技者並に観覧者を悩ましたること尠からざりしも元氣潑潑たる各町村の青年團員は何れも平素鍛練せる實力の發揮に

努め観覧者をして体育氣分を振作せしめたること大なるものあるを認めたり観覧者附近町村の小學校高等科児童及一般無慮五千名に及び天保関兵以來嘗て見ざる盛況を呈せり當日町村別團員の参加人員は左の如し
萩 町 四一 椿郷東分村五八 椿村六六 山田村四八
三見村五四 明木村八四 佐々並村三〇 川上村九〇
篠生村四 生雲村六 地福村四 德佐村五
嘉年村九 高侯村一三 吉部村三八 福川村一九八
紫福村四五 大井村八五 奈古村七〇 宇田郷村二七
福賀村八 須佐村六 彌富村七 小川村七
六島村一五 田万崎村〇 見島村〇 計 一〇二四
當日閉會に於ける郡長の告辭左の如し
阿武郡青年團聯合體育大會終了に當り茲に所感の一端を告ぐるは本官の最も欣喜に堪えざる所なり惟ふに羽賀の地たる幕末士風廢頽して海内漸く武備を忘るるの時に當り我藩主忠正公が防長の健兒三万餘有を率いて武を此の地に關し大に士風を作興せられし遺跡にして今尙當時の壯觀勢態たるを感ぜしむ蓋し我防長の英氣發して威武を天下に宣揚し克く維新の皇謨を翼賛せし所以のもの實に此地に胚胎せずんばあらず本日此に郡内青年團聯合大運動會を開き終始諸子の勇健なる奮闘

により各々其の特長を發揚し觀者をして覺えず血湧き肉躍るの感あらしむ而も其の態度堂々として一絲亂るゝなく克く青年の意氣を發現して些の遺憾なきは年來練磨の功を實證するものにして寔に快感禁する能はざるものあり今や世界の聯盟成立して外列國の協調を見るも平和の戰爭は愈々激甚を加へ思想の變動は漸く世界を風靡せんとす國民の奮起を要するもの蓋し今日より急なるはなし冀くば諸子想を此に致して日夜心身練磨の功を積み剛健不撓體氣を砥礪して國家の重きを双肩に負ひ以て大正青年の本領を發揮するに努めんことを以て告辭とす
大正九年九月二十二日
山口縣阿武郡長從六位勳六等 岡村勇二

山口縣教育會主催體育大會

十月十七日日本縣教育會主催體育大會を山口町に於て開催す、参加者は縣下の中等學校生徒及青年團員にして競技は武道(劍道、柔道)二走技(二百米、四百米、八百米、千五百米、一分間、千六百米リレー、マラソン競走)七力技(相撲、棒押、俵運、リレーの三)跳躍技の四種にして午前八時開會、走技及力技は山口高等商業學校前運動

競技科目		町	氏	名	町	氏	名
二百米徒競走	福賀村	品川	英一	地福村	河本	源作	
四百米徒競走	大井村	田中	三郎	嘉年村	佐伯德次郎		
八百米徒競走	福賀村	末益	武雄	紫福村	阿武	秀夫	
千五百米徒競走	川上村	岡崎	敏通	彌富村	藤田	卯八	
一分間徒競走	小川村	大草	保	明木村	山本	榮助	
マラソン競走	六島村	岡村	周治	明木村	齊藤	春朝	
棒押 競走	奈古村	松原	榮助	川上村	岡本	房槌	
相 撲	彌富村	古屋	軍一	地福村	中山	安雄	
	六島村	岡村	龜松	六島村	刀根	英助	
	大井村	松浦	梅吉	川上村	岡崎	松一	

依運競走	明木村	山本	英助	椿村	中原	繁一
千六百米リレ	紫福村	藤田	卯八	小川村	齊藤	貞吉
競走	椿村	藤田	清一	生雲村	渡邊	元助
劍道	明木村	藤井	太郎	嘉年村	野村	金傳
	萩町	久保田	貞治	徳佐村	石津	源一
	佐々並村	渡邊	恵助	萩町	河村	嘉一郎
柔道	嘉年村	安田	一郎	川上村	岡崎	繁信
	生雲村	藤原	順介	椿東	岡	忠一
	椿村	伊藤	太一	明木村	村田	重長
	嘉年村	一原	傳吉	嘉年村	永安	万太
	高保村	山村	清	高保村	矢次	秋富
	岡村	清				

本年は本郡體育會に於て選手を豫選し優秀者を出場せしめし結果各技其成績頗る良好にして相撲の如きは吉敷郡との對抗に於て選手全部優勝し剣道は郡別成績に於て第二位を贏ち得、柔道走技力技亦多數の優勝者を出したるは誠に痛快にして年來郡及町村に於て青年の體育獎勵に力を用ひたる効果の空しからざるを思はしむ

當日本郡青年團員にして本縣知事より最優勝者として褒狀を授けられたるものは左の如し

阿武郡青年團

六島村青年 岡村 龜松
彌富村青年 吉屋 軍一

農事視察報告 (其の一)

阿武郡産業技手 山時 隆信

食糧問題の逼迫せる今日而し乍ら本年の大豊作を以て大いに緩和されたるが如きも刈入と共に其の豊作なるを知り朝鮮地方不作に連れ一時下向の米價も逆上の勢に變じたのであり舛米麥の増殖の大勢を窺ふに推古天皇時代に余り大差はないとか反當り收量増加の模様を推して知るべしであり舛然るに人口の増加は一千人に一、八人以上で年々吾國民の努力は六七十萬を達成するのであり舛加ふに畑は山林となり野となり折角の美田は道路工場敷地に用ひらるゝ状態であり舛政府は耕地整理の獎勵に努むると共に更に開墾助成法を設け現在の耕地五百萬町歩を七百萬以上に増加せん計畫であり舛實に目下に於ける反當收量の増加は焦眉の急務とする次第であり舛而し世は既に口の時代でなく腕の時代實行の時代であり舛所が之を實地に示すと曰ふ事は尋常一様の事でありません其の當業者古よりの智識と數十年來の豊富なる經驗を持つ

てゐる者であり舛是の的確なる指導を成るべく種々考案の結果保證栽培又補償栽培を思ひついたのであり舛是保證栽培につきましては所内に於きましても隨而議論が沸騰したのであり舛而し乍ら昔から謂はれたる如く虎穴に入らざれば虎兒を得ず失敗は成功の達するの一段階寧ろ失敗を前提として覺悟の許に斷行する事にしたのであり舛愈々周囲の事情の余儀なくせられたので御互も米麥の増收と曰ふ事に就ては有り丈の智慧を絞出し現在としては最善の設計を致したのであり舛而し吾管見察聞中央に於ける増收に對する方針先進地方に於ける具體的の増收方法を親しく調査すべく視察の途についたのであり舛七月二十八日〇時四十分の列車に徳山より乗車しまして二十九日午後一時に東京へ着きました車中も常に沿道の農業状態に注意しました、第一頭に浮ぶのは阿武郡の稲作必しも劣ならいと曰ふ事であり舛熊毛郡の桑園、抑井岩國の柑橘、廣島縣本郷附近の煙草みはらの連、糸崎附近の田のは悉く完全なる下肥溜の設られたること、棉と蔬菜、さらば驛向ふの嶋の砂防工事、尾の道の蘭草の栽培、福山の桑園庭瀬驛近方は田の中にとしやくを作り其へ干瓢を栽培してゐるのであり舛東へ行くに連れて桑園が多くなり御

油豊橋、二川、ワシツ附近の桑園、既に夜に入つて眠につきました

翌朝にありましたが天竜川近傍の煙草中泉袋井、かけ川堀の内金谷附近の茶、焼津驛より柑橘が見え出し用宗棚作りの梨、鈴川の梨等でありまして本郡の農業の栽培作物少く單純なるに比較して非常に複雑であり舛農業大學に於る夏季講習會は八月一日より十四日迄二週間は午前七時より午後四時迄、後の一週間は學科は午前中午後に見學

學科及講師

- 午前 部
- 社會問題と農業教育(七時間) 中嶋 信虎
- 農民の都市集中問題(七時間) 有馬 賴寧
- 作物繁殖論(十四時間) 佐々木 喬
- 庭園(七時間) 折下 吉延
- 帝國大學教授 農學博士 原 熙
- 明治神宮造營局技師 農學士 折下 吉延
- 食物と營養(十四時間)

東京帝國大學教授農學博士 澤村 眞

農業と空中窒素(十四時間)

東京帝國大學教授農學博士 麻生慶次郎

午後 の 部

農業化學實驗(十五時間)

東京農業大學講師農學士 岡崎 寅吉
東京農業大學講師農學士 太田 貞造

科 外 講 演

將來の農業教育

東京帝國大學教授農學博士 横井時敬

中嶋サンの社會問題と教育は氏の該博なる智識を以て現在の國民思想の動搖せる際無政府主義社會主義を批判し世界的國家主義の正當最上なることを徹底的に示され一同の亂れたる現今の思潮に列し確固たる信念を纏め得せしめたり有馬サンの農民の都市集中問題は氏が大名育ちにして都會に生れ、都會に居られ、田舎を知らる比較的少なき立場より農民都市集中の不良なる結果を來すべきことを前提として結論す先に下して兎に角と論じてゐる各種農政學者と其法を違へて其の經路現狀將來と實狀調査をなして其の結果を見て之を都會より見又田舎として更に國家として論ぜられたるものにして從來の如く矢鱈

に農民の都市集中を毛虫の如く嫌ふなく都會の改造田舎の改善及農民の都市集中者に對する注意迄具體的に述べられ大ひに得る所あり佐々木サンの作物繁殖論は氏の三十前後の年にして一番成績を得て大學を卒業され南米其他に洋行され、又非常なる讀書家にして内外凡ての書に通じ近時喧しき品種改良、種子論の説明を受けるのである、庭園學は近時起たる新しき農業の學問にして公園私園につき内外の例を曳き明治神宮の内苑外苑原博士の御案内にて新宿御苑の拜觀を許され其の説明を得ました都市に於る庭園の問題將來益々痛切に感ぜられるのであり

澤村博士の食物と營養は食糧問題の逼迫せる今日物價の騰貴は生活を脅かされるを以て簡易生活とか食物經濟の必要に逼せられてゐる折柄斯界の泰斗たる先生から其の概略を授けられたのである

麻生博士の農業と空中窒素食糧農産物の増殖上肥料を多く要す三要素中窒素は誠に肝心にして從來肥料のみにては不足するを以て空中の豊富無限なる游離窒素を固定して石灰窒素窒素石灰硫酸アンモニア硝酸アンモニア等の化學肥料窒素植物を栽培して其根瘤に附着する根瘤バクテリアの作用及單獨にて游離窒素を固定するアゾトバク

ターの研究を授けられたのである

午後に於る農業化學實驗は食物肥料土壤に涉り科外講演として横井博士の將來の農業教育は博士獨特の論斷を試みし非常に得ることが多かつたのであり舛

東京近傍の視察としましては西ヶ原農商務省農事試験場高等蠶絲學校、目黒の林業試験場中野の蠶業試験場、東京府の農事試験場、府立園藝學校、玉川村の宅地利用の狀況、駒場の農科大學、深川の人造肥料株式會社等であり舛西ヶ原の農事試験場では米麥の品種改良最も主として關東地方本州中部地方を標準に仕事されてゐるのであります米麥の人口交雜及純系分離が盛に行はれてゐます東京府の農事試験場は都市の試験場として華族サンの隣りにあり色々田舎と變て農事の振はない丈非常に苦心もあるらしいのであり舛然し東京府の農事試験場としては豫期以上に手が伸ばされてゐました府立の園藝學校は流石に園藝専門大つて果樹蔬菜花卉が長く出來て居り硝子室は幾棟も建てられ、色々の花物類の分々マスクメロン栽培と葡萄の栽培が大分行はれてゐましたマスクメロンは百目八十錢で一顆六百文あり四圓八十錢葡萄百目二圓一寸成金でなければ口へ入らない

玉川村は園藝試験場に隣りしてゐて其の村の青年團でよ

く行つゝあるとて又村農會の活動振が府中第一とて何れも東京府から表彰されてゐる如く良い村であり舛近時宅地利用の聲が高まつて縣下に於ても都濃郡の末武南村久保村に之を試みられ近く富田町に施設される様に聞いてゐる本郡としても支出の過度の膨大せる今日收入増加の方法として一面農村美を發揮し衛生的に宅地を改造利用することは最も必要のこと、考へ舛其の宅地利用に就いては最も古くから手を附けられてゐる村で宅地利用の元祖で色々の宅地利用の本も此の玉川村の宅地利用狀況を中心として認めてゐる此宅地利用の動機は明治 年宅地租の昇せられた時に此宅地租を他の收入から出すと曰ふことは面白くない何とぞ宅地から此位の金は産し出せまい事はあるまいとして互に考案し郡及農會の指導を受け年々宅地利用の品評會を開いて之が改善と普及を圖て來たのである利用としては茶、枇杷、干兩、蘭等で温床栽培で茄、胡瓜が栽培されてゐます此の玉川村の宅地利用狀況は後日取纏めて申上たいと考へ舛農科大學では澤村博士の教室でアゾトバクテリアの審かなる試験を見學しました大日本人造肥料會社の釜屋堀の製造場で過燐酸石灰の造られる様子をみました行きました頃は過燐酸の賣口が少く會社事業を縮小してゐる様な案配でありました林業

試験場なり蠶業試験場は素人目にみましたので間違つた観察をしても宜しくありませんので又機会がありましたら其邊の人から申上げられますでせうから略します

群馬縣群馬郡駒寄村大字大久保村の大麥九石實收の状況は私の聞きました範圍では最高の收量を得てゐますもので一等集約なる栽培が試みられてゐます其の詳細なることは取纏めて申上舛が其の實收は高九石を超過して十石或は其上に迄も及んでゐます異所を申し上げますれば

一、土地は大炭で肥へて居り耕土が非常に深く膨軟である

一、栽培法は掖田式で其に改善を加へたものと集約にあつたものである

一、殊に土入を非常に行ふ

一、耕地は桑園に採られ一農家の麥作付面積少いので其の狭い場所から出来る丈の増收を圖らうとするので勞費を吝まないこと

概略 右の通りであり群馬縣の農事試験場は前橋にあります但し種畜場と併置されてゐます米麥の増收に就いて色々苦心研究されてゐます米麥は増收に對する施設方は視察しました各府縣を通じて結論を下しませう、高崎を立ちまして東京の少し向ふの浦和に降りまして埼玉

縣農事試験場の浦和分場を訪いました分場であり舛が實際は本場位かも知れませんが、大都市を控へてゐます關係上、園藝が盛であり舛目にどまりましたのは非常に早く市場へ送り出す事の出来る例の静岡縣久能村でやつてゐる苺の石垣栽培、土穴を掘りて軟化室を作り其で軟化栽培に促成栽培西瓜其他瓜類が澤山に作られてゐます其様の北部地方の篤農家と一所に案内されましたが昨年は果樹が拙らなくて養蠶がよかつた本年は其と正反對で養蠶は不出來の上に値段が低く果樹は非常に良かった而し總收入は餘り變りないとか物好き色々初めて居りますかとの話、矢張農家の組織は單純な程變動が多くて複雑して程安定がない此の人の話で益々其感を深めました本場代用食物の甘藷馬鈴薯の研究に就て本省より指定されてゐまして一町歩の畑地に甘藷と馬鈴薯を作り其の品種改良と栽培法の改善貯藏法の研究してゐました朝鮮式支那式の大倉迄作られてゐました未だ委託されて大規模の研究にかゝつてから三年しかありませんので今の處具體的成績は見えませんが二人の技術員の方が年中是に附きてやつて居られますので色々有益な材料が得られる様になりませう、代用食物として甘藷馬鈴薯雜穀の研究に就いては本場の外農手愛媛の兩縣試験場に農商務省から

委託してゐます

今度は東海道線で三島に降り其處から電車で大仁に參り大仁から自動車で四里の道を湯ヶ島へ行き伊豆天城山の山葵を見ました、天城山の山葵の栽培法は後に申上げ舛ので略します此地方は修善寺の外幾多の温泉があります伊豆半島で非常に暖い地でありますが特にハダの木を植へて陰を求めて來ます其の產品は神田の關東各府村農會の共同販賣所で聞きまして本場物として非常に評判が良いのであります而し此の品と本郡産とを比較しますに決して劣りはしない或は天惠の利即ち本郡の風土がより以上山葵に適してゐないだろ一か、と考へまして益々此の郡の山葵栽培の奨励普及に隔段の努力したいと考へました

次ぎは興津驛の直ぐ側の農商務省の園藝試験場に伺ひました園藝即ち果樹蔬菜の専門の試験場は是れ切りであります品種改良、栽培法此の栽培法も種類毎に分け農藝化學に分ち分擔を定めて各人々によつて色々研究されてゐました蔬菜の喜田さんは恰度本郡宇都の講習會へ出張中御留守で御目にかゝることが出来ませんでした其れから井上侯の柑橘園を見まして非常に間隔が廣く植へられ立派に出來てゐました田中光顯伯の柑橘園は溫洲蜜柑

と夏橙で恩田博士の御指導の園で柑橘の研究上最も良いものぢやさうでした遺憾ながら調査粗漏で歸てから聞きましたので見る事が出来ませんでした

内外の農業の組織を較べますれば西洋のは大農式我國のは小農寧ろ過小農であります平均した耕作面積が田畑併せて町歩で此丈の廣さで一家五人家内が生活して行ふ曰ふ事は困難であります殊に年々支出の過度の膨大しつゝある今日としては尙更であります少く共一農家の耕作面積を一町五反位にしなくてはならないとは色々の學者の意見の合致する所でありまます其位の經營であれば相當の收入を得ることが出来ます現今一町の耕作にさへ弱て其が一町五反も作ることが出来ないヤレ米麥の増收や蠶業畜産林業斯ふ曰ふ様に副業獎勵副業獎勵で曰はるければ幾ら農家でも年から年中一寸の閑もなく働き續けられるものではない矢張人間で人には休みもせなければ體も續かない此世に生して來た甲斐がないと御百姓は元より現に其の獎勵の局に當てゐらるゝ人々か町村の牛耳を採てゐらるゝ方々も時々聞かせられる所でありまます誠に尤もの所でありまます

現在の勸業の獎勵が斷片的で統一でない曰ふことには心付いて居りますすけれ共未だ十分と申すことが出来ませ

ん、又生産増殖の方面には進歩してゐますけれども其農業組織即ち田を幾ら畑を幾ら其々は作物を何々作り養蠶幾ら畜産をどれ位林業をいつの時にドレ丈と曰ふ事の研究が足りません農業の商工業に較べて劣ると曰ふ事は勞力の配當が宜しくない即ち商工業者は年中具合良く仕事がある其に農家になると五月と秋は目の廻る程忙しい猫の手迄も引張り出さんければならないと曰ふ位、而して夏と冬特に冬は閑で小人閑居して不善をなすで寧ろ害が心身及身代りに来る、其で組織を考へ閑時機に各種有利なる副業中其地方其家に恰好なものを持て來ることが肝心であります其と共に非常に忙しい時には從來の栽培法と變へて仕事を一時にしなければならぬものを或期間に伸べてすると共に農具を改良して一日の功程を大ならしむ其に就ては今少し畜力の利用、動力即ち發動機利用電氣の利用であります近時農具と曰ふことに大分御互に目が醒めましたと見へまして、犁稻麥扱器の研究が進んで参りました犁に對しましては大体の結論が申されますが稻麥扱器は其の数が四百以上もありますさうで昨年廣島縣農會が審査しまして其の成績は既に御通知申しました通りであります其頃は未だ幼稚でありましたが近時著るしく進歩しました日々の新聞にも何々式に式とか非

常に澤山出ます目下兵庫縣、及北海道で農具共進會がありまして其の成績が判り又今少しと申すと機械の數も著るしく減少して参りませう、吉敷郡には時々農具に關する研究會が開かれつゝあるものであります非常な時機に適合した施設であります來年度に於ては縣として農具に對する農事試驗場として農具に對する施設の抱負があるらしいであります人の用ふる農具が進みますと勞働賃銀が騰貴し又労働者の拂底して今日、人の代りに或は助けとして畜力の應用各種動力の利用が非常に必要にあつて参ります農商務省として、愛知と三重の兩縣試驗場に委託しまして、農具の改良特に愛知では農具部を設け其に技師一人技手三人助手數人を入れて盛に研究調査してゐます其概略は本春の民力共進會の際稻扱廻轉機を廻轉しますると、愛知縣の試驗場でやつてゐる家牛馬にて動力を得ること模範脱穀機等の連繋したるもの等數種の寫眞を取り寄せ其の功程經費等は表として御目にかけたのであります今はトラクターを輸入しまして西ヶ原と愛知で土壌の耕起を試験してゐます大日本農會では補助を受けまして農業用小型發動機の懸賞募集してゐます、大阪府の泉南郡地方では電氣を利用して稻摺稻扱してゐます本郡徳佐では電氣の粉摺機が村内それ

くの地に設置されてるのであります電氣及石油其他發動機の利用は尤も大切であります愛知縣に於る試驗成績は他日申し上げませう
話が前後いたしましたと同じく東海道線で今のはアンゼウ驛を降りて愛知縣の農事試驗場を見たのであります愛知縣の農事試驗場長は彼の農村の自治に就て有名な山崎延吉先生で農學校長もやつてゐられます先生の一言で生徒は勿論職員もビク／＼するとかの話であります氏は更に縣農會に關係してゐられます斯く縣下の農業獎勵の各機關に携へるなから大部分は他府縣へ講習講話に出られてゐるのであります先生の徳望は誠に美しくあります安城よりズット前に金谷に下りまして静岡の茶業調査しましたで其の状態を申し上げます金谷驛より一里半で牧の原の縣立茶業試驗場及國立試驗場を見ました静岡縣の茶の栽培反別は一萬三千町歩(全國五萬町歩)産額三百十四萬三千貫(全國約九百萬貫)金額六百萬圓餘(全國千五百萬圓位)であつて全國第一位で第二位なる三重縣又は京都府に較べて四倍半若くは五倍の多さを占めてゐる一部でも一百万圓以上の産額を有するものがあつて他府縣の一縣と相當し一ヶ村で十數萬圓の生産あるもの數ヶ村であつて静岡縣の一ヶ村で徳島縣の全産額と同じで其の

三名で主なる業務は茶樹の栽培製茶法の改良茲に各種製茶機械の試験をなし一方には最も進歩せる經營に付調査研究をなし又茶業講習茶業講話を行ひ及練習生を養成して斯業に精通せる當業者を作り一面實地指導をしてゐます抑も山口縣茶は香氣特に良好なるの故を以て内外の名聲高し即ち外國輸出の市場たる静岡市四日市神戸市の製茶取扱商店乃至外國商館よりの需用年と共に盛なるのみならず近年に至り京都市、大阪市、廣島市等よりの需用盛に起り尙縣内の消費年と共に長足の進歩せり山口産茶の聲價ある事由は凡てのもの其の地の風土に最も適應せるにより他より卓越せるの品を産出するは明かなり本縣の地勢と氣候の茶樹生育に最も適應せるに由る本縣下にては何れの地にても茶樹栽培に適し故に茶樹は山野又は畦畔の垣代用として栽培するも相當の收穫を擧げ得べし、産業の種類として煎茶紅茶の香茶の三種にして煎茶と紅茶は茶の芽が三四寸に伸長せるものを摘み取り煎茶は茶の芽を蒸じて火上に揉乾し紅茶は蒸さずして揉捻の上醃酵せしめて製造し番茶は茶芽摘採後上部を剪定し得たる葉及梢を蒸じて揉乾するものとす茶芽を摘み取らず其の葉の稍硬くなるを待ち扱て採り釜熬日乾するの二法あるも其品質は寧ろ前者の優るを見る

一般が窺はれる茶業試験場は明治三十九年の創設経費で一萬二千圓を使い職員としては技師二名技手三名助手剪茶の製造量一人一日に五貫匁一六貫匁の茶葉を四回六回に分ち揉乾するを普通とするものにして一回に要する時間は一時四十分乃至二時三十分間とす

紅茶の製造量は茶の芽を生る儘揉捻醗酵せしめて製造するものなるが故に煎茶の製造に比し労費を要せざる者とする茶の芽一貫匁より得る製茶及代金は上等なる茶の芽一貫匁より得る總乾物の量は二百五十匁前後にて左の如し

上製茶貳百八匁 代金壹圓九拾五錢

屑茶四拾貳匁 代金拾貳錢五厘

合計 貳百五拾匁 貳圓七錢五厘

右の如く一貫匁の茶芽は四時間前後の働により貳圓有餘の品となり一日五貫匁製造の者は拾圓參拾七錢五厘となり六貫匁製造者は實に拾貳圓四拾五錢の製品を得るものとす

一人一日の製茶に要する費用は

一、四拾五錢 木炭百八拾匁代 一、拾錢 薪參貫五百匁代 一、貳錢葉貳百匁代 一、參錢 紙糊代

計 六拾錢

以上の計算は本年茶價に準據算出せるものにして而も之が製造には餘りに多くの設備を要せず又餘りに多く研究

を要せずして能く以上の目的を達するものにして土地勞力の利用と共に最も有利の事業にして何れの家庭に於ても易く行ふことを得べき副業である静岡縣の茶業の盛なることを申上げて本縣の現状より茶業を奨励した理であります静岡縣茶業の詳細は後に更に纏めて申上ります名古屋から關西線に乗り替へ鳥羽山田線へ龜山で乗り移てアコギへ降りて三重縣の農事試験場を尋ねました此の場長は佐波郡小野村の出身であります全國に於きましても福岡、愛媛、次に参りました滋賀と共に名の高い評判の良い試験場であり農具に對して同じく農商務省の指定を受けて飾を他に付調査されてゐます

米麥のことに能く研究されてより町村技術員の養成が企畫されてゐました、本郡のサードリワケン(種子)は此試験場から貰ひましたのですが緑肥に就ても研究されてゐます

三重縣の試験場を見ましてから琵琶湖の邊の石山驛に居り近江八景を賞しつつ、電車でせよに下り滋賀縣の農事試験場へ参りました

普通農事主任の袴田技師に就て稻作増收に付聞きまして目下此縣では京都山田老農の見出したる旭種が非常なる勢で普及しつゝ、あり本縣の多收品種としては其と渡船雄

町であります、場員の人々の考案によるので場長式袴田式字佐川式等色々工夫された多收種の面白い試験田があります

札の辻から京都へ出まして奈良へ着き關西線で柏原に降ります此地方は葡萄の栽培が盛でありました、畿内市場で岡田技手に遇ひ米麥の品種改良につき聞きまして稻の人工交配の盛に行はる最中でありました

クラシキに降りて大原農事研究所では近藤博士が所長として民間農事研究所として非常に働いてゐますので其へ又疊表の本場の廣島縣御調郡毎年本郡招聘します田原隆吉氏の案内を願ひ置きました既に豫定の日數も経過して後には忙しい業務が問へてゐますので畿内市場を最後として歸りました

米麥中麥作のことは群馬縣駒寄村の研究中に申しましたから今回見ました範圍内で稻作増收に對し各府縣の意嚮を纏めますれば

一、優良品種の選擇

米質相當にして多收種あるもの、株張能く然も稈稈の太きものを選びます

一、苗代の改善

苗代は折衷苗代として播種量は大粒坪一合五勺小粒

一合の薄蒔を奨励します

一、移植法の改良

從來の如き正條植は既に五六年前より長方形密植に改められまして當業者六分通り改善されまして非常なる勢で普及されつゝ、あります

其の寸法が各府縣共申合されたの如く一方は一尺で狹き方は多少違ひますが四五寸であります

一、其他 施肥量の増加、病虫害の驅除豫防に努められてゐます、稻作増收に關する意見は近く米麥増收號の臨時報の出ます豫定でありますので其際に申上ります、又機會を替へて御話したいと考へます

阿武郡農會事業概況

大正九年四月より九月に至る本郡農會に於ける事業の概要左の如し

一、採種圃設置

(イ)甘薯 採種圃五畝歩宛大井村水津林吉、吉部村農會の兩名へ依託し種蔓は本縣農事試験場より配付を受け栽培中

(ロ)馬鈴薯

一、春蒔長崎種とアールローズの二種を求め各五

畝歩宛長崎種は大井村水津林吉へ依託栽培したるに結果不良に付採種せずアローローズ種は格村岸彌七へ依託栽培し種薯百八十七貫七百目を採り隣郷東分村外十六ヶ村へ配付せり

二、秋蒔種を本縣農事試験場より配布を受け前記兩名へ依託栽培中なり

五、蕪市場
本年蕪市場に於ける蕪取扱數量價額左の通り

春	九千七百八拾壹貫百八拾匁
夏	七萬壹千五百五拾貳圓四拾四錢
秋	七千參百八拾五圓九拾錢
合計	四萬貳百參拾六圓參拾五錢

共同購入取扱品種數量代價左の通り

蠶蔴	參百五十枚	七拾圓八拾錢
鎌	千四百六枚	五百拾七圓參拾四錢
庖丁	百七枚	四拾壹圓四拾八錢
紫雲英種子	拾八石參斗六升五合九百四拾圓八拾四錢	
秋蒔蔬菜種子	貳石七斗六升八合參百四拾五圓八拾九錢	
除虫菊粉	參封度	五圓七拾八錢
計金	千九百貳拾貳圓拾參錢	

阿武郡農會主催耕地整理講習會
十月十一日より同十七日まで七日間本郡會議事堂に於て阿武郡農會主催に係る耕地整理講習會を開設せり而して講習生十四名の内皆勤者九名に對し講習證書を授與せり同會講師及擔當科目左の如し

三、民力共進會共贊
本年四月本郡民力共進會開會中會場内へ休憩所を設け觀覽人へ茶菓を供したり

四、蕪市場増築
秋蕪市場事業室狹隘に付建坪數拾坪を増築せり此費金六百六拾圓にして萩町河村卯吉へ請負せたり

擔當科目	講師
開墾助成取扱事務、耕地整理法大意	山口縣技手 阿曾沼要次郎
登記	萩區裁判所書記秋田武太郎
地價配付、換地交付	廣島稅務監督局屬 田邊 矯次

軍用干草獎勵に就て

軍用干草の調製と購買の要領、其の價格及獎勵に關し宇品陸軍糧秣支廠に於て作成せられたるもの左に掲げ獎勵の資となす

▲干草調製要領

- 一、干草はどんなのがよいか
イ、馬がよく食ふもの
ロ、滋養分の多いもの
ハ、充分乾燥せるもの
ニ、色合よく香氣あるもの
ホ、色々の種類の草が交りあること
ヘ、毒草や無益の草が交りあらざること
- 二、干草にはどんな所に生へる草がよいか
イ、一番よいのは田畑の畦畔堤防原野などの肥へたる土に生へる草
ロ、次は高山又は山の頂等に生へる草
ハ、一番劣るものは陰地濕地に生へる草
- 三、干草にはどんな種類の草がよいか
イ、めひしば、のびる、けめひしば、ゑのころくさ、すすめ、のびる、くすの様な葉も莖も軟く滋養分も多いのが葉草と云ふて一番よろしい

- ロ、ちがや、すゝき、めがるかや、ちからくさの様な葉も莖も堅いのは芝草又は芒と云ふて葉草より劣る
ハ、せんじん草、あけび、おうせり、とくせり、たがらし、とりかぶと、さんばうけ、れきな草、ちようせんあさがは、はんげの様なものは毒草で馬に害になる
ニ、すぎな、いぬたで、うなぎつかみ、はこべの様なものは馬のためにはなんにもならぬ
- 四、刈取の時期はいつがよいか
普通花が開かんとする時がよいのである然し天氣其他で思ふ様にはゆかぬから主なる草に就て適當なる時機に刈ればよいのである又芒莖の如きは二尺位の長さの時に刈るが宜しい
普通生草を干し上げると二分の一から三分の一位の干草が出来る
- 五、刈取調製の心得
イ、天氣のよいのを見定めねばならぬ
ロ、成るべく朝早く刈りて人馬の通行せぬ所に乾かすが宜しい
ハ、雨に濡らさぬ様にせねばならぬ
ニ、夜露に曝らすのはよくない夕方になれば一部づ

▲推積して覆をして置くことが大切である
*、乾草の程度は時期にもよるなれども好天氣のとき
三日乃至四日位乾したる位が適當であるがこれは
大切なることで水分の十分に去らざるものは貯蔵
中に變敗するからよく氣をつけねばならぬ
へ、乾草の十分でない草は上等の草でも第二位の草と
なるから寧ろ乾し過ぎて宜しい
六、干草はとう貯はへるがよい
イ、微させぬこと
ロ、野積するときは覆をして下には枕木等を置き濕氣
を吸はぬ様すること
ハ、風通しをよくすること然らざれば蒸じて悪くなる
ニ、十分に乾かぬ草が混交しあるときは蒸じて微が生
へ他のよい草迄悪くなることがある
ホ、故に推積した草でも時々風を通じ又は日光に曝す
が宜しい

▲于草購買要領

一、生産代表者
各生産者と直接購買契約を爲すは双方繁に堪へざるを
以て各地に若干の生産代表者を設け該代表者と當廠と
契約を爲す

該代表者は當廠に納付代金請求其他一切の行爲を代表
するものとす
右代表者は農會長、村長又は區長其他適宜のもの或は
從來の仲買人又は小學校長等を撰定せらるゝを可とす

二、供出の方法
乾燥せるもの約六貫を一捆とし經約四分の葉繩二條に
て横五ヶ所縦一ヶ所緊縛し運搬途中に脱漏せざる様注
意のこと
梱包せるもの約五、六百貫以上纏りたる時は馬車、汽
車又は和船にて當廠に輸送すること(納付場所等別紙
圖面の通り)汽車積にありては鐵道軍需輸送半額證を
交付することあり
但し馬車及和船輸送に依るものは直に納付場所に搬入
し汽車輸送のものは宇品驛又は東廣嶋驛より馬車にて
運搬するものにして運搬受負人を特定し置くは便宜な
らん

三、檢査受渡
現品到着せば供出者立會の上品質並に數量の檢査をな
し等級及數量を決定し受領證を發行す
但し供出者立會困難なる場合は運搬請負人を代理者と
して立會せしむるか又は他の者を代理者として立會せ

調辯區域		縣別		郡市町村別		特等百貫以下の價格	
第一區	第二區	廣島縣	廣島縣	廣島縣	廣島縣	特等	百貫以下
佐伯郡	安佐郡	安佐郡	安佐郡	安佐郡	安佐郡	一四五〇〇	一三三〇〇
地御前村	可部町	可部町	可部町	可部町	可部町	一三七〇〇	一三〇〇〇
巴斐町	音戸町	音戸町	音戸町	音戸町	音戸町	一三〇〇〇	一二三〇〇
吉田村	渡ノ子村	渡ノ子村	渡ノ子村	渡ノ子村	渡ノ子村	一二三〇〇	一二三〇〇
井口村	八幡村	八幡村	八幡村	八幡村	八幡村	一二三〇〇	一二三〇〇
八幡村	倉橋島村	倉橋島村	倉橋島村	倉橋島村	倉橋島村	一二三〇〇	一二三〇〇
宮内村	砂谷村	砂谷村	砂谷村	砂谷村	砂谷村	一二三〇〇	一二三〇〇
石	原村	原村	原村	原村	原村	一二三〇〇	一二三〇〇
	栗谷村	栗谷村	栗谷村	栗谷村	栗谷村	一二三〇〇	一二三〇〇
	玖	玖	玖	玖	玖	一二三〇〇	一二三〇〇
	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一五〇〇〇	一二三〇〇	一二三〇〇
	一四二〇〇	一四二〇〇	一四二〇〇	一四二〇〇	一四二〇〇	一二三〇〇	一二三〇〇
	一三五〇〇	一三五〇〇	一三五〇〇	一三五〇〇	一三五〇〇	一二三〇〇	一二三〇〇
	一二八〇〇	一二八〇〇	一二八〇〇	一二八〇〇	一二八〇〇	一二三〇〇	一二三〇〇
賀茂郡	西住町	西住町	西住町	西住町	西住町	一二三〇〇	一二三〇〇
三津口村	東志和村	東志和村	東志和村	東志和村	東志和村	一二三〇〇	一二三〇〇
仁方町	寺西村	寺西村	寺西村	寺西村	寺西村	一二三〇〇	一二三〇〇
廣村	西高屋村	西高屋村	西高屋村	西高屋村	西高屋村	一二三〇〇	一二三〇〇
阿賀町	造賀村	造賀村	造賀村	造賀村	造賀村	一二三〇〇	一二三〇〇
	川上村	川上村	川上村	川上村	川上村	一二三〇〇	一二三〇〇
	志和	志和	志和	志和	志和	一二三〇〇	一二三〇〇
	吉土實村	吉土實村	吉土實村	吉土實村	吉土實村	一二三〇〇	一二三〇〇
	早田村	早田村	早田村	早田村	早田村	一二三〇〇	一二三〇〇
	原村	原村	原村	原村	原村	一二三〇〇	一二三〇〇
	川	川	川	川	川	一二三〇〇	一二三〇〇

しむることを得此の場合は委任狀を要す
四、價 格
現地調査の上決定し追て發表す
五、代金の支拂
受授完了のものに對しては直に代金請求書を提出し東
京陸軍糧秣本廠長より送付する仕拂通知書に依り指定
金庫又は郵便局にて現金受領のこと
六、品位に依る等級
一等品 葉草にして品質、乾燥、調製、色澤、香味、
梱包等物品善良にして精撰を要せざる程度のもの
▲大正九年度干草購買價格表

たるべし
二等品 芝草の葉草一等品と同等のもの及葉草の品質
乾燥、色澤、香味、梱包等善良にして精選の減
耗百分の四以内と認むるもの
三等品 品質其他二等品に次ぎ精選の減耗葉草は百分
の四以内芝草は百分の四以内と認むるもの
三等品以下のものと雖も手入及精選の上馬糧に適すと
認めたるものは臨時相當の價格を決定して購買するこ
とあり

- 七、受渡場所は當支廠補給部倉庫
- 金五拾錢を返拂す
- 六、大正九年十二月晝日迄に契約數を全納し又は契約數以上納付したるときは其全納付數に對し百貫に付
- 五、大正九年十月晝日迄に納付したるものに對しては本表の外百貫に付金五拾錢を加算す
- 四、各等級全部葉草なるときは百貫に付金五拾錢を増加し全部芒芝草なるときは百貫に付金五拾錢を減す
- 三、精撰の減耗割合又は芒芝草の混合の何れかが右等級の制限に超過するときは次等品とす
- 二、三等品以下のものと雖も手入及精撰の上馬糧に適すと認めたるときは臨時相當の價格を決定して購買することあるべし
- 三等品、品質其他二等品に次ぎ精撰の減耗百分の十以内と認むる程度の葉草二割以上芒芝草八割以内のもの
- 二等品、品質其他一等品に次ぎ精撰の減耗百分の六以内と認むる程度の葉草四割以上芒芝草六割以内のもの
- 一等品、品質、乾燥、調製、色澤、香味、梱包等善良にして精撰の減耗百分の三以内と認むる程度の葉草六割以上芒芝草四割以内のもの
- 特等品、品質、乾燥、調製、色澤、香味、梱包等善良にして精選を要せざる程度の葉草八割以上芒芝草二割以内のもの
- 備考
- 一、特等品以下三等品迄の標本は當廠補給部倉庫に備付く

第七區	山口縣	阿武郡	嘉年村、徳佐村、高俣村、生雲村、地福村、吉部村、篠生村、川上村、明木村、佐々並村	一七五〇〇	一六七〇〇	一六〇〇〇	一五三〇〇
第八區	山口縣	阿武郡	(第七區以外ノ各町村)	一八〇〇〇	一七二〇〇	一六五〇〇	一五八〇〇

第三區	山口縣	安藝郡	上蒲刈嶋村、下蒲刈嶋村、三田村、秋穂村、市川村	一五五〇〇	一四七〇〇	一四〇〇〇	一三三〇〇
山口縣	安佐郡	佐伯郡	(第二區以北の各町村)				
山口縣	安佐郡	佐伯郡	水内村、上水内村、四和村、津田村、淺原村、岩國町、小瀬村、麻里布村、川下村、藤河村、御庄村、川西村、愛宕村、灘村、師木村、通津村、由宇村				
山口縣	廣島縣	豊田郡	忠海町、須波村、田野浦村、佐仁崎村、小泉村、大乗村、吉名村、木谷村、豊田村、大河村、善入寺村、入野村、小谷村、田万里村、第三區以外ノ各町村	一六〇〇〇	一五二〇〇	一四五〇〇	一三八〇〇
山口縣	廣島縣	賀茂郡	有保村、井原町、志屋村、以北第五區以南ノ各町村				
山口縣	廣島縣	玖珂郡	柳井町、神代村、鳴門村、日積村、伊陸村、新庄村、余田村、桑根村、北河内村、南河内村				
山口縣	廣島縣	熊毛郡	(第五區以外ノ各町村)				
山口縣	廣島縣	大島郡	(一圓)				
山口縣	廣島縣	豊田郡	(第四區以外ノ各町村)				
山口縣	廣島縣	高田郡	栗屋村、甲立村、船佐村、來原村、横田村、丹北村	一六五〇〇	一五七〇〇	一五〇〇〇	一四三〇〇
山口縣	廣島縣	山縣郡	壬生村、八重村、都谷村、戸河内村、以南ノ各町村(上記町村ヲ含ム)				
山口縣	廣島縣	佐伯郡	吉和村				
山口縣	廣島縣	玖珂郡	祖生村、玖珂村、高木久村、米川村、川越村、阪上村、濫前村、賀見畑村、河波村、廣瀬村、熊毛郡(第四區以外ノ各町村)				
山口縣	廣島縣	熊毛郡	(川根村、生桑村、北村、本村、山縣郡(第五區以外ノ各町村)	一七〇〇〇	一六二〇〇	一五五〇〇	一四八〇〇
山口縣	廣島縣	山縣郡	高田郡(川根村、生桑村、北村、本村、山縣郡(第五區以外ノ各町村)				
山口縣	廣島縣	山縣郡	高田郡(川根村、生桑村、北村、本村、山縣郡(第五區以外ノ各町村)				

▲干草獎勵の歌（森陸軍上等計手作）

宇治の川せの深き瀬を 佐々木四郎が先陣も
愛馬の名にて現るゝ 琵琶の湖ひはの音に
かたりつたふる光俊が 功績も馬の力なり
日清日露の戦ひに 近くは歐洲西伯利に
馬のたてたる其功績 なか／＼人にゆつらめや
とも我國の軍隊は 近衛師團の其外に
二十の師團備れり これ等數ある軍隊に
飼ひならしたる馬の數 總して三萬有餘頭
一馬一と日の飼ひ料は 大麥一貫三百匁
外に干草一貫と 藁若干を與ふなり
なかにとり分け干草は 雨露の恵みに生ひ育つ
山林原野畦畔の 天然草を刈り取りて
飼ひばこそは作るなれ 朝のつゆをふみ分けて
友よびかはし野に山に 草刈ることの樂しさよ
くさは四、五日晴天に 乾燥すればあを／＼と

程よき品ぞ出来るなり 數ある草の其の中に
馬の飼ひばによき草は めひしば野びる力草
ゑのころ草に馬肥し 男よもきに駒つなき
すすめのおんごう之もよし ちかやの類も初夏の
若きに刈ればあしからず いひべき草はとりかふと
犬はうつきにせんになん草 狐のぼたんどうだい草
毒せりたかし毒になる 數ある草のよしあしを
刈りどる折に心して ゆめなまじへず毒草を
作りなしたる干草は 糶秣廠へ年々しに
價も高く買ひ上げて 軍馬のかてどなすぞかし
されば農家の副業に これに過ぎたる業はなし
ひらけ行く世の學ひ屋に 通ふ童に到るまで
學びのひまに朝夕に この業をし勵もみなば
國のためなり家のため 且は我身の爲なるぞ
はげめや勵め草刈を はげめや勵めくさ刈を

参 考 資 料

町村立小學校尋常科兒童出席步合表

目次

一、町村立小學校尋常科兒童出席步合表（九月分）……………一

二、同 高等科兒童出席步合表（同）……………三

三、現役兵人員表（大正九年徵集）……………五

四、補充兵人員表（同）……………六

嘉年	明木	椿西	地福	字田	三見	明倫	生雲	奈古	吉部	福田
九八、八三	九九、二〇	九七、五四	九八、一三	九七、六八	九七、五三	九八、六二	九七、五五	九七、四七	九七、四九	九五、九六
九九、五八	九九、〇三	一〇〇、〇〇	九八、八九	九九、七三	九八、六七	九七、八三	九八、三二	九七、八三	九七、二一	九九、七〇
九九、七五	九九、一三	九八、七七	九八、三九	九八、二六	九八、二五	九八、二四	九七、八八	九七、六一	九七、三五	九七、二〇
計										
本順	九月分									
月	一	二	三	四	五	六	七	八	九	一〇
前										
位	九	一	二	〇	六	一	四	一	二	二

二、町村立小學校高等科兒童出席歩合表

上月	生目	吉部	本月郡平均	前月郡平均
九三、二九	九一、一九	九一、一七	九〇、九四	九六、四〇
九二、四四	九二、〇一	八九、一〇	八六、二八	九五、五一
九二、九四	九一、五五	九〇、一五	八八、六一	九五、九三
三九	四〇	四一	四二	一
三八	四一	四二	四三	一

紫倫	明古	奈川	下島	大島	見福	地生	篠水	白井	大目	篠英	育田	福坂	持田	半東	椿侯	高島	相富	德佐
九六、八八	九六、五五	九七、一二	九六、五七	九七、二五	九七、〇四	九五、八九	九五、九四	九六、九四	九五、六四	九五、七四	九四、五四	九四、八二	九五、一七	九三、七四	九四、三五	九六、三〇	九五、三〇	九四、一〇
九六、一九	九六、〇八	九五、四六	九五、五〇	九五、一六	九五、一八	九五、四七	九五、三五	九三、八三	九五、五二	九五、二五	九六、六四	九四、六一	九三、六二	九五、八九	九四、〇五	九一、五四	九一、三三	九二、八九
九六、五二	九六、三二	九六、三〇	九六、二〇	九六、〇八	九六、〇三	九五、六八	九五、六七	九五、六五	九五、五七	九五、五五	九四、七二	九四、四四	九四、二二	九四、二二	九四、〇七	九三、五六	九三、五四	九三、一二
本順																		
月	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六
前																		
位	一八	二一	三三	一四	一三	二九	二六	二四	二二	一〇	二七	三一	二五	二三	三〇	四〇	二八	三四

學 校 名	男	女	計	本 願	月	前	位
青英	九八、五〇	九五、一四	九七、一六	一	一	一	一
福川	九七、一〇	九五、三二	九六、四六	一	一	一	一
小川	九五、七五	九七、七四	九六、三八	一	一	一	一
川上	九五、三八	九七、七四	九六、三八	一	一	一	一
紫福	九五、六一	九八、五四	九六、二四	一	一	一	一
多磨	九五、四八	九七、五五	九六、二二	一	一	一	一
大井	九四、九七	九七、一〇	九六、〇五	一	一	一	一
佐並	九四、九二	九七、七一	九五、九三	一	一	一	一
白富	九六、〇六	九四、六七	九五、四二	一	一	一	一
彌富	九四、一八	九九、五六	九五、三三	一	一	一	一
篠生	九三、三八	九八、〇〇	九五、〇〇	一	一	一	一
德佐	九六、八四	九〇、二四	九四、七八	一	一	一	一
椿東	九四、四七	九四、八一	九四、六二	一	一	一	一
高俣	九三、一四	九四、七八	九三、五八	一	一	一	一
大島	九〇、五一	九一、六六	九〇、七六	一	一	一	一
見島	八五、四八	九六、六七	八六、九五	一	一	一	一
本月郡平均	九五、八八	九七、一九	九六、二三	一	一	一	一
前月部平均	九六、三二	九七、八三	九七、〇七	一	一	一	一

合	見	六	田	小	彌	須	福	宇	奈	大	總	福	吉	高	嘉	德	地	生	篠	川	佐
計	島	島	崎	川	富	佐	賀	郷	古	井	福	川	部	俣	年	佐	福	雲	生	上	並
一五三	二	四	五	五	四	〇	三	四	七	四	二	一	七	二	一	七	一	四	一	四	五
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
三九	一	一	三	一	一	一	一	一	一	一	二	一	一	三	三	二	一	五	一	三	
八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一〇四	七	一	九	二	六	三	二	四	八	五	三	二	二	四	二	六	七	一	五	七	二
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一七〇	七	七	八	一	五	六	九	六	一	六	四	九	七	五	六	一	六	二	三	〇	

町村名	種目	四、大正九年徵集補充兵人員表
明三山椿椿萩	步兵	合見六田小彌須福宇奈大
木見田東分	騎兵	計島島崎川富佐賀郷古井
	砲兵	元九八三三七四二二二三八六
	工兵	三七一四一一一二一一一
	電信隊兵	一
	輕重隊兵	四
	輕重輪卒	一
	水兵	三
	計	一五
		一
		七
		四
		七
		三
		一
		五
		九
		八
		八
		八
		二
		一
		七
		二
		三
		三
		一〇
		八
		二
		九
		四
		九
		三
		七
		〇
		〇

□ 要心袋

秋田縣由利郡長戸崎順治氏は有名なる良郡宰であつて常に在郷軍人は良兵たらんとて奉公袋を携へ予は良民たらんとて要心袋を肌身離さずとて逢ふ人毎に此れ効能書を説明して實踐躬行只管郡民の教導に努めつゝある又毎月壹回二十日に申酉俱樂部なるものを催し所員一同を集めて或は孔孟の學を説き或は新刊の書を講し或は五分間演説をなさしめ以て所員の薰陶に最善の努力を拂ひつゝあり而して同氏の要心袋なるものは左の通りである。

▼ 要心袋と製法

- (一) 眞心といふ皮を原料とし、(二) 熱心といふ色で染め、(三) 勘忍といふ針で縫ひ、(四) 時といふ縁を探り、(五) 規律といふ鍔を掛け、(六) 丸に和合の紋を附け(七) 萬事手落なしといふ緒で結ぶ

▼ 要心袋と(効能七不思議)

- (一) 袋といへども形なし、(二) 薄い様でも厚みあり、(三) 如何に使へども損じな(四) 火災盜難憂ひなし、(五) 智慧も這入れは人も入り、(六) 田畑山林は結構、(七) 國は安全家繁昌